

【報告 第3号】

令和元年度 事業計画について

公益社団法人霧島市シルバー人材センター定款第36条第1項の規定に基づき、別紙のとおり報告する。

令和元年5月30日 提出

公益社団法人 霧島市シルバー人材センター
理 事 長 南 田 吉 文

令和元年度 事業計画

I 基本方針

我が国は、2065年には国民の約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上となる社会が到来すると言われています。

また、2020年には日本の女性の2人に1人が50歳に到達するとの推計がでており、少子高齢化に歯止めがかかる気配はありません。

一方、人口も減少に転じ、30年後には現在より2000万人減少するといわれ、労働力不足も深刻化してきております。

このような将来を見据え、就業を通じて高齢者が活躍できる地域社会を創造し、健康の維持にも寄与するシルバー人材センターは、今後ますます重要になってくると考えられます。

こうした中、当センターでは、第4次中期計画を策定しておりますが、その2年目として更なる飛躍を目指して事業を進めて参ります。

II 基本目標

①会員組織の整備及び活性化

◇事業目標

1. 会員数1,040名を目標に、会員1・1運動（会員1人が1人の入会促進運動を行う）や夫婦会員会費優遇制度について周知を徹底し強力に推進します。
2. 地域班活動の活発化や、入会説明会の内容の充実、60歳以上の一般市民を対象にしたグラウンドゴルフ大会の開催など、センター事業の普及啓発を行います。
3. 公平・公正な就業機会の提供を行うための「見える化制度」を更に機能を充実させていきます。
4. 女性の会を活性化させ女性会員の獲得を目指します。特に本年度は役員研修、女性による女性だけの入会説明会、全女性会員を対象にした1日遠足等開催します。
5. 増加傾向にある生活支援サービスに対応するため、ゆりの会（福祉・家事援助・子育て支援サービス班）組織を強化、受注に的確に対応できる体制を整えます。
6. 事業拡大並びにクレーム撲滅に向け、地域班長、職群班長、各種委員を対象とした研修を行い、センター運営に対する意識の高揚を図ります。
7. 後継者育成並びに技術向上のために、各種講習会を開催します。
8. 会員相互の連帯意識（センター行事への積極的な参加）を高めることで、退

会者抑制につなげていきます。

9. 上記センター行事への積極的な参加を推進する手段としてポイントカードを有効活用します。
10. 一般の方を対象に（55歳以上）講習会を開催し、シルバー人材センターに関心を持っていただき、シルバー予備軍として登録していく制度を検討します。

②事務局組織の整備及び安定的な財政運営

◇事業目標

1. センター事務について、事務を更に見直し、企画・営業・管理業務に重点を置いた事務局体制を構築します。
2. 本部事務所の位置、各地区事務所のあり方について行政との協議を継続していきます。
3. 理事会の専門部会制度を充実させ、さらなる事業の発展を図ります。
4. 会員へのサービスの向上として、職員の時差出勤制を試行します。
5. センター事業に対しての理解を深めていただくため、理事、監事、各種委員の研修を行います。

③就業機会の開拓・創出及び確保

◇事業目標

1. 「自主・自立」の原点に立ち返り、会員自身も仕事の開拓に取り組む必要があるため、1会員1仕事開拓に取り組めます。
2. 現在指定を受けている指定管理施設「城山公園」が5年の期限を迎えるため、再度の指定を受けられるよう努力します。また、他の指定管理者との連携を強化し、就業機会の拡大を図ります。
3. 就業開拓委員会と理事会、職員が一体となって、街頭キャンペーンやポスティング活動を進め就業機会の確保に努めます。
4. 独自事業は取捨選択しながら拡充を図り、センターのイメージアップを図ります。
5. 8月に普及啓発の一環として広報誌を発行し、会員・市民へ向けて情報の提供を行います。
6. ホームページの有効活用（就業情報、会員資格者リスト）を図ります。

④安全就業の徹底

◇事業目標

1. 安全就業の徹底を図り、傷害、賠償事故〇を目指します。
2. 毎月第4木曜日を安全の日と定め、安全・適正就業委員会を中心に、作業現場への安全パトロールを行います。
3. 安全専門指導員による、不定期でのパトロールを強化し、指導を徹底します。
4. 事故の要因分析と再発防止策のフォローアップを行います。
5. 安全だよりを発行し、会員の安全に対する意識を高めます。
6. 安全に対する意識の高揚を図るため、優良地区等の表彰を行います。
7. 車両事故発生時に責任の所在を明確に出来ること、また運転者の安全に対する意識高揚を図ることを目的にドライブレコーダーを各車両に搭載します。
8. 損害賠償保険の自己負担を増額します。

⑤適正就業の徹底

◇事業目標

1. 長期就業について、ローテーション就業を推進します。
2. 完全請負制定着のための取り組みを進めます。
3. 公用車の運転業務に関して「高齢運転者等に係るガイドライン」に基づき基準を設定します。
4. 適正就業ガイドラインに沿って、請負、委任、派遣等の受注振分の徹底を図ります。

⑥関係機関との連携強化

◇事業目標

今後もさらに行政と連携を深め、人的支援をお願いしていきます。あわせて、地域の団体及び各地区のふるさと会（関東・関西）とも連携を強化し、シルバー人材センターに対する理解の浸透を図り、事業拡大につなげます。

【報告 第4号】

令和元年度 収支予算について

公益社団法人霧島市シルバー人材センター定款第36条第1項の規定に基づき、別紙のとおり報告する。

令和元年5月30日 提出

公益社団法人 霧島市シルバー人材センター
理 事 長 南 田 吉 文